

介護施設

中腰での介助業務に効果を発揮！ マッスルスーツ®で従業員の身体のケアに取り組む

セントラル大田



社会医療法人 若竹会
つくばセントラル病院
介護老人保健施設
セントラル大田
(東京都大田区)



大下 道子 氏
セントラル大田
施設長



押野 泰史 氏
主任
理学療法士

ご入所者との「信頼」を大切にするアットホームな介護保険施設

セントラル大田は、2008年3月に設立された、つくばセントラル病院が母体の介護老人保健施設です。非常にアットホームな雰囲気、入所者から高い評判を得ています。理念として、「利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助する」、「家族や地域の人びと・機関と協力し、安全で自立した在宅生活が続けられるよう支援する」ことを掲げ、ご入所者やご家族との「信頼」、そして居心地の良さからくるご入所者の「自由」を大切にしています。

現在、全室個室のユニットケアで120名、通所リハビリ40名という規模でPT、OT、STが在籍し、リハビリに力を入れています。また、セントラル大田では、「一人の人の持つ無限の可能性を確信し、創造と挑戦による職員満足」を目指しており、その人材確保や職員の身体のケアのため、介護ロボットを取り入れ、運用を始めています。

従業員の身体を守る為に介護ロボ採用

寝たきりや身体の大きなご入所者への介助では、腰痛を引き起こす可能性が高く、セントラル大田では、予防目的も含めて多くのスタッフがコルセットを利用しています。

「仕事に伴う腰痛の悩みを軽減し長く従業員に働いてほしいという思いから、「腰補助用 マッスルスーツ®」のコンセプトである「腰補助」や「腰痛予防」という点に共感しました（施設長 大下氏）」。

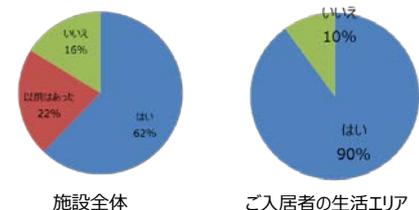
デモンストレーションで関係者が全員試着を行い、その効果（装着の容易性やその機能の効果）を体感し、導入するに至りました。



「最近、通所リハビリでも使い始めました。身体の大きなご利用者の立ち上がり介助では、特に腰痛を感じていました。週に4日いらっしやるので、その介助の際には必ず装着するように徹底することで自ら腰を守っています。これからも介護の仕事長く続けていきたいです。」

社会医療法人 若竹会 つくばセントラル病院 介護老人保健施設 セントラル大田
介護福祉士 松田 時江 氏

マッスルスーツ®導入前アンケート
現在、腰に痛みはありますか



(図説明)ご入居者が生活しているエリアでの「腰痛の悩み」は、施設全体と比較しても高い。「マッスルスーツ®」がその改善に寄与することを期待している。

データ参照：セントラル大田「介護ロボット委員会」

圧を調整するような工夫を行っています。また、施設内で「介護ロボット委員会」を立ち上げ、定期的に議論を行っています。そこでは、マッスルスーツ®置き場に設置している状況記載ノート(利用時の詳細を記載するノート)から現場からの声を集め、より効果的な活用方法を模索しています。

今後のテーマは、マッスルスーツ®の利用標準化/マニュアル化

現場からは「前傾作業は楽」、「介助時の腰への負担はかなり軽減した」という意見がある一方で、「装着方法が定まっていない」、「使用後の腰の負担軽減効果はあるが、継続して使用することによる効果も検証していきたい」といった意見もあります。

「効果があることは実感できている。こういった業務で利用するかを明確化し、その運用マニュアルを作っていくことが直近の課題です。効果を明示するためにもアンケート等でデータを取ることを継続していきたい。装着方法の標準化はマッスルスーツ®のメーカーであるイノフィスからのサポートも期待しています(主任PT押野氏)」。



中腰で腰への負担のかかる車イスからベッドへの移乗介助時に使用している。

中腰での介助業務に効果を発揮

日々腰に負担のかかる業務が多く発生する介護現場で、スタッフの負担軽減のために運用が始まった「マッスルスーツ®」。「現在は、夜間の排泄介助や日中の移乗介助に使用しています。特に中腰での反復作業で効果があると現場から声があがっています(主任PT押野氏)」。ご入所者の生活エリアで、男女5名のケアスタッフが1日に40~60分程度、マッスルスーツ®を装着し介助業務を行っています。最初は注入する空気圧の調整等に時間がかかっていました。現在では、スタッフの体格や担当業務に応じて空気



マッスルスーツ®は、専用の台で管理している。



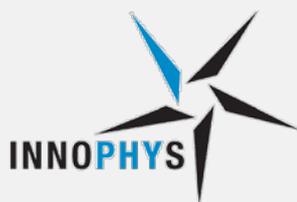
山口 繁男 氏
介護福祉士

氏名	所属課	使用開始日	使用頻度
山口 繁男	介護課	2017年3月	頻回
松田 時江	介護課	2017年3月	頻回
...

項目	評価	改善点
装着のしやすさ	◎	調整が楽
作業時の負担軽減	◎	腰痛が軽減
移動時の安定感	◎	滑り止め効果
メンテナンス	◎	清掃が簡単
コストパフォーマンス	◎	耐久性が高い

使用状況を確認し、ロボット委員会でより良い使い方を話し合うため、使用状況日報と使用状況確認シートを記載することをルール化し、運用している。

基本情報	
使用モデル	マッスルスーツ ：タイトフィットタイプ
導入時期	2017年 3月
台数	2台
主な使用シーン	排泄介助、移乗介助
時間帯	夜間、日中(40-90分)
使用人数	約5名
職種	介護福祉士、その他



《お問い合わせ》
株式会社イノフィス
TEL: 03-5225-1083
Email:
Support@innophys.jp
Facebook:
<https://www.facebook.com/innophys.jp/>

生きている限り、自立した生活を実現する

東京理科大学発ベンチャー
～夢のようなロボットではなく、人のためのロボットを～
詳しくは <https://innophys.jp/> をご覧ください。

©2017 INNOPHYS CO., LTD. All rights reserved
記載事項は予告なく変更される場合があります。内容の一部または全部をINNOPHYS CO., LTD.の許可なく使用・複製することはできません。マッスルスーツ®, INNOPHYSはINNOPHYS CO., LTD.の登録商標です。その他の記載のブランド、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

